

(仮称)豊坂児童館 建設で協議

福祉産業建設 常任委員会

11月11日 協議会開催

(仮称)豊坂児童館建設事業の基本・実施設計をす
すめ、平成29年度建設にむ
け、関係者および地域と協
議中。

- Q 児童館に児童クラブを併設する計画があったが、基本構想時は併設。しかし、協議経過から児童館単独の道さぐる。
- Q 構想の見直し必要では、施設規模縮小も検討。原点に戻り見直すべき。慎重に判断する。

空き家対策の取り組み状況

町内各所に存在する空き家の実態調査をすすめ、平成29年度には空き家等対策計画を策定する。

- Q 空き家所有者の把握は、実態調査時に課税状況や聞き取りなどにより連絡先を把握する。
- Q 空き家を活用する考えは、所有者への意向調査で把握し、空き家バンクも検討。



児童館建設予定地 (六栗地内)

10月24日 管内視察

セレモニーホールとぼね 清幸園などを視察

- ◆セレモニーホールとぼね 新斎場は、既に利用されているが全ての工事が完了するのは平成29年1月末。設備は、火葬炉5基・動物炉1基・待合室6室など。町の祭壇も設置。
- ◆清幸園衛生処理場 処理場は、蒲郡市と幸田町から「生し尿と浄化槽汚泥」を受け入れ処理する施設で、82㎏/日の直接脱水処理が可能。脱水汚泥は焼却処理し、脱水分離液は公共下水道に排出。

◆岡崎中央クリーンセンター

センターは、可燃・不燃ごみを受け入れ焼却する施設で、平成27年度幸田町内のごみ7332ト焼却。処理方式は、シャフト炉ガス化溶融方式で、処理能力は380ト/日。発生した余熱は蒸気タービン発電



清幸園衛生処理場を視察 (海谷地内)

に利用され施設の運転に。余った電気は電力会社に売却。
イサービス提供の「チャイルドハート幸田事業所」を視察。

◆その他
障がい者生活介護施設「あい事業所」・放課後デ

平成29年度に 坂崎小学校の校舎増築

総務教育
常任委員会

11月18日 協議会開催

坂崎小学校は、幸多の杜の住宅開発により児童数が増加。教室不足と増加する児童クラブ要望に対応するため、平成29年度に校舎増築を計画。

Q 軽量鉄骨造1階建てだが、暑さ対策は。

A エアコン設置を予定。

Q 人口減少の時代を迎えるが。

A 平成34年以降しばらくは、高い水準が続く。

Q 将来の転用、例えば地域の集会場にするとかの考えは。

A 早急な対応が必要であり、現計画ですすめる。

北部中学校の整備計画

平成37年度に生徒数760人、23クラスが必要と推定される。

既設校舎西側に、軽量鉄骨造2階建て校舎を建設。平成31年度完成予定。

Q 県道東に部活動施設の用地確保とは。

A テニスコート2面または3面として利用できる面積。

Q 体育館のフロア改修は。

A 平成32年度以降を予定。



児童急増の坂崎小学校

地域活性化の 先進地域を視察



旧庁舎の車庫を活用した資源回収（明和町）

バス停から目的地に近いバス停まで送ってくれる新しい利用形態として展開。

◆明和町

旧庁舎の車庫を、もったいない館として活用。ごみの減量化、資源化、再利用の拠点として相乗効果大。

◆坂東市

結婚相談推進員1人と地域の結婚相談員20人体制で結婚相談事業を推進。

毎年10組前後の結婚成立の実績と出産、子育て、教育まで細かい施策を展開。

◆龍ヶ崎市

シテイセールス課を新設し、特産品、自然環境、観光などの魅力創造で人口増加・定住化に取り組み中。

小中学校にエアコン100%設置、給食費の無料化、住宅取得補助などの施策を推進。

10月19日から21日 群馬県太田市、明和町、茨城県坂東市、龍ヶ崎市を視察

◆太田市

1%まちづくり事業
地域コミュニケーション活性化

のため、平成18年度から市税の1%を財源に、公園のリメイク、防犯活動など地域主体で課題に挑戦している。

◆乗り合いバス事業

予約すると、自宅付近の

12月定例会のあらまし

一般質問

委員会レポート

あい・らぶ・マイタウン

給食センター 町民会館など視察

総務教育 常任委員会

11月1日 管内視察

◆役場電算室

個人番号システム導入に伴う情報セキュリティ対策強化の状況を確認。

◆太陽光発電システム

役場庁舎と消防本部に設置された太陽光発電設備を視察。通常時は一般電力として、停電時は災害対策本部や防災拠点の機能維持に役立つ。

◆給食センター

給食のできるまでの工程と給食食器の軽量化ニーズを現場で確認。

昼食は、幸田小学校の教室で児童と一緒に食事し、



児童と一緒に給食体験（幸田小学校）

メニューと味を実感した。

◆ハッピーネス・ヒル・幸田

町民会館、図書館、市民プールの今年度と来年度以降の整備予定の現場を確認。

◆幸田小学校校舎増築

平成29年2月完成予定の工事進捗と児童への安全対策の状況をチェック。

◆消防団車庫兼詰所

狹字仲田に建築中の第2分団第1部車庫兼詰所を視察。完成は平成28年12月20日。

◆深溝松平家墓所

今後の保存整備計画の内容と現地確認。

◆深溝断層

保存・整備の状況を確認。

事業計画の変更示される

幸田・三ヶ根駅前 整備 特別委員会

11月8日 協議会開催

幸田駅前区画整理事業

事業期間を4年間延伸して、平成34年度を完了とする計画変更が示された。

事業費が、国と県の補助で2億1000万円増加。建物移転状況は、平成28年度に79軒すべてが終了の

見込み。

Q 計画変更の要因は。

A 県道芦谷高力線の整備、電線共同溝（地中化）が国の補助金対象となったことによる。

Q J R線路側の町有地は。

A 計画どおり公園として、平成32年度の整備を考えている。



電線類地中化の工事区域（幸田駅前）

平成28年度の 総合防災訓練結果

防災・減災対策 特別委員会

11月10日 協議会開催

9月3日、幸田町と関係機関団体など中心とした基幹訓練を防災広場で実施。

参加機関 51機関

参加人数 約650人

主な訓練内容は、シエイクアウト、救護所設置、自衛隊災害派遣要請情報収集、避難、救助・救出、愛知県防災航空隊偵察、起震車・煙体験などの訓練と使用防災資機材の展示、災害用伝言ダイヤル体験。



油火災の消火訓練（防災広場）

Q ボランティアの受け付け訓練は。

A ボランティア連絡協議会が対応している。

Q 陸上自衛隊の訓練参加の要請は。

A 自衛隊の判断による。ドローンを活用した訓練はできないか。

A 岡崎市との共同運用で検討している。

Q 防災ヘリからの映像伝送装置の映像の改善を。

A 被害状況を確認する方法は受信装置があれば見れるが、大型スクリーンは費用がかかる。

矢作川水系 洪水浸水想定区を視察

11月10日 管内視察

矢作川流域の氾濫域は8市1町で、大規模水害に備え減災のための治水対策をすすめる必要がある。矢作川上流部の豊田防災ステーションから、矢作古川分派堰の現地調査をおこなった。

◆矢作川豊田防災ステーション
洪水被害から地域住民を守る施設で豊田市が管理。国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所が河川管理している。

◆鵜の首狭窄部と旧明治頭首工
矢作川上流部における治水上の課題は、狭窄部の開削、湛水地内の浸漬。

◆矢作古川分派施設
矢作川と矢作古川の合流地点に、分派堰を設置することで矢作古川への水量を600m³/sから2000m³/sに抑制するため、幸田



矢作古川分派堰の説明を受ける（西尾市地内）

町地内の水害リスクを抑えられる。分派堰は、下部の隙間から水が流れるオリフイス形式を採用している。平成28年5月に完成した。水害予防のための判断水位を観測する岩津観測所、明治15年の堤防決壊で被

害を出した乙川の「三島切れ」の現地なども視察した。矢作川では、想定最大規模洪水に対して「逃げ遅れゼロ」をめざしていく。

12月定例会のあらまし

一般質問

委員会レポート

あい・らぶ・マイタウン

農業法人が 相見駅西へ進出計画

地方創生 特別委員会

11月4日 協議会開催

農業法人の進出計画

西尾市の大野精工(株)が、農業事業拡張で相見駅西地区への進出を計画している。同社は自動車部品製造を本業としているがトマト栽培で実績をあげている。

地権者への説明会は、平成28年11月1日に実施された。

幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略

イチゴ販売戦略と地方創生拠点整備交付金の内容など協議。



プラズマ照射でイチゴ栽培(荻区・内田農園)

イチゴ販売戦略は、一般社団法人地域問題研究所へ業務委託。

契約金額

557万2800円

業務期間 平成28年10月25日から29年3月28日。

Q 低温プラズマのイチゴへの応用方法は。

A プラズマをイチゴの根元へ直接照射、養液を根元に流す方法と何もしないもので効果をみる。

Q 地域問題研究所への業務委託内容は。

A 抗酸化イチゴの健康安全性、市場のニーズ調査など。

11月16日 視察

◆幸田町のイチゴ農家(荻区)

内田農園では、低温プラズマによる抗酸化イチゴの栽培実証実験の取り組みがされている。

名古屋大学の指導により、プラズマの直接照射、養液水を根元に流す方法で栽培中。

◆名古屋産業振興公社プラズマ技術産業応援センター(守山区)

プラズマ工学の学術研究と人材育成の拠点となっている。最近の開発事例は、プラスチックの接着強度化や日焼け止め化粧品などがある。

◆名古屋大学プラズマナノ工学センター(千種区)

プラズマ技術による最先端機能材料の創出、環境汚染の浄化、農水産物の育成、医療科学の研究開発など未

低温プラズマ技術の 最先端視察



名古屋大学プラズマナノ工学センターの研究室

来社会の実現に挑戦している。研究室では、プラズマ照

射による材料の実態変化装置、チヨウザメの育成室を視察した。



伝わる文章 3つのマナー

議会広報 特別委員会

10月25日 全国町村議会広報研修会、東京シエーンパツハ・サボーに参加

研修会では、平成27年度広報コンクール優秀賞受賞紙から、企画編集の仕方や伝わる文章3つのマナー（短く書く・重複を省く・具体的に書く）など、3人の講師から編集技術を学んだ。

10月26日 埼玉県宮代町議会広報を視察

宮代町は、埼玉県の東北部にあり、人口は3万3500人余り。議員数は14人。固有の議場を持たずコミュニティホールの大ホールを町民と共同利用している。広報紙編集手順、表紙写真、住民懇談会の在り方など、活発な意見交換をおこなうことができた。

表紙写真

新成人のみなさん、おめでと〜いございます。酉年 町の飛躍と平和を願う。成人式当日のハッピーネス・ヒル・幸田。

写真提供 清田正真さん（鷺田）



宮代町で活発な意見交換

軽量鉄骨造（プレハブ） 校舎を視察

議会 調査会

11月8日 視察

議員全員で、阿久比町立東部小学校の軽量鉄骨造（プレハブ）校舎を視察

本町は、ここ数年人口が増加し、北部地域の児童・生徒も増加が見込まれている。

平成29年2月には、幸田小学校校舎増築が完成。

坂崎小学校は、平成29年度校舎増築の予定。北部中学校は、平成31年度校舎増築の予定である。両校ともに、軽量鉄骨造（プレハブ）を予定しているため、今回調査会をおこなった。

Q なぜ軽量鉄骨造としたか。

A 鉄筋コンクリート造では、教室が足りない状態になる年度に間に合わない。

Q 耐震性能は大丈夫か。
A 建築基準法に基づき問題はない。

Q 音は響かないか。
A 2階からの振動が気になることがあるが、今までの校舎と特に変わらない。

Q 工事費用は。
A 鉄筋コンクリート造の場合より、大幅に減額できる。



阿久比町立東部小学校の教室